

いざお披露目！個性きらめく部員の力作

二〇二六年五月十日(日)に開催された、関西高等学校の第一回オープンスクール。ここには、独自のコーナーがある。その名は、「文化部ギャラリー」。様々な文化部の、ユニークな取り組みが紹介されている。二〇二二年から始まったこのコーナーに、今年もODC部員の力作が集まった。

先陣を切ったのは部長。生き物好きの彼が作ったのは、糞虫に関する展示。図鑑やフィギュアを用いて、その奥深さをPRした。(①-1)

また、去年反響を呼んだザリガニクイズも再登場し、多くの来校者が挑戦した。(①-2)

初参加のNさんは、クトゥルフ神話がモチーフになったTRPGを制作。来校者はルールブックを読むだけでなく、横に置かれたタブレットで実際のゲームを見ることができた。ゲーム作りにかける、Nさんの並々ならぬ情熱がうかがえた。(②)

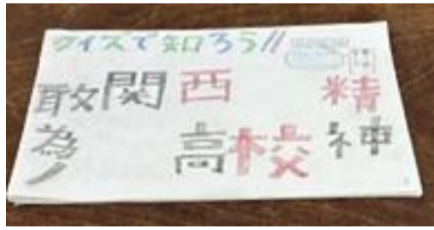
新入部員Yさんは、関西高校にまつわるクイズを作成した。(③) フレッシュユさが光り、自前のイラストもGOODだった。

トリを飾ったのは副部長。『史記』の翻訳に挑戦し、伝説の帝の物語や、夏王朝の逸話等を紹介した。(④) 去年の歌舞伎に引き続き、視点が斬新で面白い。

次回は七月。どのような展示が登場するか、大いに期待が高まることろだ。



④



③



②



①-2



①-1

新入部員Yさんに、突撃インタビュー！
インタビュー：ODCに入ろうと思ったきっかけは何ですか？

Yさん：生徒会のオリエンテーションです。自分の好きなことをとことん究められる点が、画期的だと思いました。

インタビュー：関西高校には面白い部活が多いですね。では、ODCではどのようなことに取り組みみたいですか？

Yさん：爪痕を残したいですね(笑) 折角だから、未知の領域に挑戦してみようかと。

インタビュー：なるほど(笑) 高校生活が始まって二ヶ月経ち、様子はいかがですか？

Yさん：初めての環境下で、苦勞の連続です…

しかし、先生方は優しく情が厚い人ばかりのため、僕は毎日のんびりと、自分のペースで生活することができています。

インタビュー：生き生きと過ごせているようで何よりです。ところでYさんは、Eーエンジニア科に在籍していますね。資格取得に力を注いでいると、風の便りで聞いたのですが？

Yさん：そうなんです！今は、危険物(丙種)の資格を取る勉強をしています。関西高校は、資格を取るための補習も充実していて、ありがたいですね。二学期は、第二種電気工事士の資格取得を目指して、これからも生活していこうと思います！

インタビュー：Yさんのチャレンジを応援しています。ありがとうございました!!



加賀見山再考藤(骨寄せの岩藤)より 第一段 満開の大乗寺

檜舞台の隅のスキマに寺社の廊下に付いたてすりが付いている。正面の門には彫物がほられており、左右に縦・横に細い棒状のものをオセロの線のように組み合わせて作られた、仕切りが付いている窓がある。舞台の右側には石の階段があつて、それらに添うように木材の骨組みに布や紙を張って作られた、山の舞台のセットがある。舞台の右側と左側の両方に桜の木が立っている。これら全てに様々な色の布を縫いあわせて作った幕を張って覆っている。

日よけの前に吊り下げられた桜の枝が二層になってぶらさがっていて、動物の毛(主に羊の毛)をフェルト状に加工して作られた敷物がしかれていたところの上に、X状に脚を交差させて座るところにイノシシなどの革が張つてある携帯用の折り畳み椅子が置かれている。

これらは全て桜が満開になっていて大乗寺で、主に大名がお参りする時に使われるものである。この場所に帽子をかける道具を上級侍女の亀が持つてきて、黒く塗られているお供え物を盛った台をもう一人の上級侍女の牛島が持つてきて、眞崎と木根川という別の上級侍女も牛島と同じ服装で椅子にもたれかかつて座っている。

下級侍女の関屋も、亀の戸(亀)が持つてお供え物と同じものを用意していて、お供えする物を盛った台を、関屋から渡された別の下級侍女の待乳が持ち運んでいて、その後から来る小梅が若い生命のみずみずしい美しさをふりまきながら歩いてきて、道の途中で一時立ちどまったと同じくらいに寺の鐘の音が鳴り響いた。

